

【別紙様式】

<p>一戸町は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。</p>			
事業名	IGR利用促進・運行支援事業		
総事業費 (千円)	18,900千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	18,900千円
事業概要	<p>①目的 コロナ禍による利用者減少や電力費高騰等により事業継続に大きな影響を受けているIGRいわて銀河鉄道株式会社の鉄道事業の維持・継続を支援し、交通手段を失うことによる一戸町民の生活への悪影響を回避する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 支援金：1事業者×18,900千円＝18,900千円 (18,900千円の内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわて銀河鉄道運行支援交付金390,000千円×負担率37.5%のうち12.6%＝18,427千円 ・いわて銀河鉄道利用促進協議会への負担金10,000千円×負担率37.5%のうち12.6%＝473千円 <p>③交付対象</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 交付対象者 IGRいわて銀河鉄道株式会社 1者 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 IGRいわて銀河鉄道株式会社は町内で運営する唯一の鉄道事業者であり、鉄道事業の維持・継続を支援することにより一戸町民の生活の足を確保し、町民生活に寄与するため、IGRいわて銀河鉄道株式会社を交付対象者として、支援金を交付する。 <p>④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、鉄道事業の継続が図られることにより、一戸町民の移動手段が維持され、その生活の安定が確保される。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>IGRによる鉄道事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、旅客運輸収入が、2021年度は2018年度と比較し336,631千円の大減収となっており、このままでは、事業の継続が困難な状況に陥っている。</p> <p>IGRいわて銀河鉄道株式会社を交付対象者として支援金を交付し、鉄道事業の継続を支援する本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		